

株式会社eWeLL、リクルートホールディングス等へ 総額1.2億円の第三者割当増資を実施いたしました

訪問看護ステーション向け業務支援アプリ『iBow』を運営する株式会社eWeLL（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：中野剛人）は、株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO：峰岸真澄、以下リクルート）、株式会社リクルートストラテジックパートナーズの運営する合同会社RSPファンド6号、既存株主である中野剛人（株式会社eWeLL 代表取締役社長）、島田亨（楽天株式会社 代表取締役 副社長執行役）を引受先とする第三者割当増資を10月16日に実施し、総額126,378,000円を調達いたしましたのでお知らせいたします。

1. “iBow”の特徴

高齢化の進行による患者数の増加を背景に訪問看護市場は2025年には現在の約1.6倍にあたる51万人/日の利用が見込まれる成長領域です。（※厚生労働省「在宅医療・介護の推進について」（2012））
 当社は、「情報革命を活用して新しい価値を創造する」を企業理念に掲げ、クラウド型訪問看護ステーション向け業務支援アプリ「iBow」を開発・運営してきました。
 同システムはPC・タブレット端末から操作できるSaaSとして「利用者情報管理」「訪問記録等の各種公的帳票の作成」「服薬管理」「医療・介護保険算定実績の確定」「各種集計」など看護師の事務負担の軽減と業務効率化をサポートします。当社は、法規制の順守、法改正への早期対応、セキュリティを重視したサービス設計を行っています。



また、同システムは顧客の実データ・活用事例をもとに適宜改良を行っており、ITシステムに詳しくない看護師でも容易に操作できる画面・帳票を提供し、使う人の満足度の向上を実現しています。

2. 本件の目的および協業について

当社は2014年6月にサービスを開始して以来、「看護師が日々の業務で本当に利用できる」訪問看護業務に特化したアプリとして成長を続け、2015年7月末には約1200名の訪問看護従事者に日々ご利用いただいております。今回の資金調達により、業務支援にとどまらない訪問看護従事者を始め、医師やケアマネージャーなどに対し情報を連携「地域包括ケアサービス」提供等の機能拡充開発を行う事、そして介護・医療保険請求の代行サービスを予定しており、一層のサービス価値向上を図って参ります。
 また人材サービス業界最大手のリクルートと協業する事で、営業・マーケティングを強化し「iBow」の普及に取り組んでいき、顧客基盤の拡大を促進し、訪問看護ステーションおよび現場の看護師をITとサービスの側面から支援していきます。

3. 新規引受先：合同会社RSPファンド6号の概要



株式会社 リクルート ホールディングス

(1)	商号	合同会社RSPファンド6号
(2)	代表者	岡本彰彦
(3)	所在地	東京都中央区銀座8-4-17
(4)	設立年月日	2014年11月12日
(5)	主な事業内容	投資育成事業・ベンチャーキャピタル事業
(6)	運営会社	株式会社リクルートストラテジックパートナーズ

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社eWeLL 取締役 北村亜沙子
 TEL: 06-6244-9333 E-mail:kitamura@ewell.co.jp